

北海道新幹線(新青森駅～新函館北斗駅)
開業に係るアンケート調査

宇都宮商工会議所

1 調査目的

平成28年3月に開業を予定している北海道新幹線は、我が国の交通の大動脈として北海道地方と首都圏を結ぶ人の流れをさらに活発化させるものと大きく期待されている。

現在、北海道への移動は、羽田空港、福島空港や茨城空港を経由した航空機利用が主なものであるが、東北新幹線と北海道新幹線との乗り換えのいらない相互乗り入れ（「はやぶさ」の宇都宮駅への停車）により、移動時間の短縮などの利便性向上をはじめ、ビジネス交流や販路拡大などの産業振興や観光客誘客・文化交流の拡大など様々な効果が期待される。

そこで、北海道新幹線の開業により当所会員事業所に与えるメリットを的確に把握し、今後の効果的な意見要望活動に繋げていくため、アンケート調査を実施した。

2 調査概要

(1) 調査対象

- ア 当商工会議所役員・議員
- イ 当商工会議所会員（従業員50人以上）
- ウ （一社）清原工業団地総合管理協会会員
- エ （一社）宇都宮工業団地総合管理協会会員

(2) 標本数 500

(3) 回答数 216

(4) 調査方法 郵送及びFAX送付—FAX回収

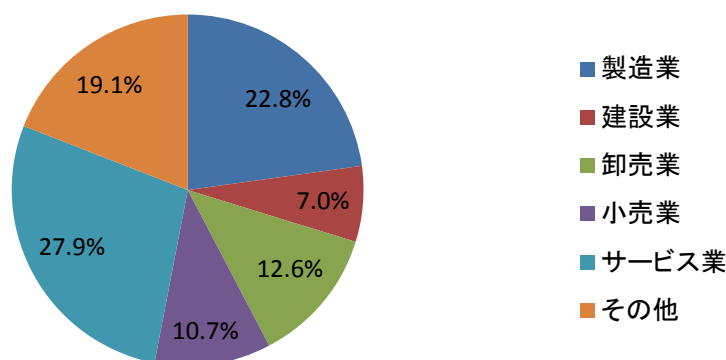
(5) 調査期間 平成26年10月22日（水）～11月20日（木）

(6) 集計方法 業種を6分類し、各質問項目に対して集計
（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業、その他）

(7) 調査票 別紙のとおり

3 業種別の回収割合

業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	その他	合計
回答数	49	15	27	23	60	42	216
構成比	22.7%	6.9%	12.5%	10.6%	27.8%	19.4%	100.0%



4 調査結果

質問1 北海道新幹線が平成28年3月に開業し、東北新幹線とつながることをご存じですか。

	回答数	構成比	回答数	構成比	業種別 回答数
	(1)知っている		(2)知らない		
製造業	45	91.8%	4	8.2%	49
建設業	14	93.3%	1	6.7%	15
卸売業	25	92.6%	2	7.4%	27
小売業	23	100.0%	0	0.0%	23
サービス業	52	86.7%	8	13.3%	60
その他	37	88.1%	5	11.9%	42
合計	196	90.7%	20	9.3%	216

質問2 北海道新幹線が開業し、宇都宮駅に「はやぶさ」が停車した場合、宇都宮駅から新函館北斗駅まで3時間30分程度で結ばれます。北海道へビジネスで行く場合新幹線を利用しますか。

	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	業種別 回答数
	(1)新幹線を利用		(2)飛行機を利用		(3)その他		
製造業	37	75.5%	3	6.1%	9	18.4%	49
建設業	12	80.0%	3	6.1%	0	0.0%	15
卸売業	20	40.8%	2	4.1%	5	10.2%	27
小売業	18	78.3%	2	4.1%	3	6.1%	23
サービス業	47	79.7%	6	12.2%	6	12.2%	59
その他	35	85.4%	3	6.1%	3	6.1%	41
合計	169	79.0%	19	8.9%	26	12.1%	214
無回答	2件						

【(3)その他の主な記載内容】

- ・目的、目的地及び状況に応じて新幹線と飛行機を使い分けたい。
- ・費用と時間の効率を考えて決めたい。
- ・取引先がないためビジネスでの利用予定はない。

質問3 現在、北海道の取引先等と離れていることで不便なことはありますか。

【主な記載内容】

- ・羽田空港までの移動時間や北海道までの飛行時間がかかり過ぎる。
- ・北海道まで飛行機を利用するため現地での移動利便性を重視すると道央（札幌）の取引業者を優先してしまう。道南業者との交流が難しい。
- ・羽田空港、福島空港、茨城空港はいずれもアクセスが悪い。
- ・物流コスト、運送コストがかかる。
- ・北海道にある関連組合と容易に交流が図れない。
- ・既存取引先の関係維持や新規取引先の開拓が難しい。

質問4 現貴社は、北海道函館市及びその周辺都市に支店・支社・営業所・店舗・工場などがありますか。

	回答数	構成比	回答数	構成比	業種別
	(1)ある		(2)ない		回答数
製造業	7	14.3%	42	85.7%	49
建設業	1	6.7%	14	93.3%	15
卸売業	0	0.0%	27	100.0%	27
小売業	1	4.3%	22	95.7%	23
サービス業	9	15.0%	51	85.0%	60
その他	5	11.9%	37	88.1%	42
合計	23	10.6%	193	89.4%	216

質問5 それはどのような施設ですか。また所在地をご記入ください。（複数回答可）

	支店	支社	営業所	店舗	工場	その他
合計	10	4	7	3	4	2
構成比	43.5%	17.4%	30.4%	13.0%	17.4%	8.7%
製造業	1	0	2	0	4	1
構成比	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	57.1%	14.3%
建設業	1	0	0	0	0	0
構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
卸売業	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
小売業	1	0	0	0	0	0
構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
サービス業	3	2	4	2	0	0
構成比	33.3%	22.2%	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%
その他	4	2	1	1	0	1
構成比	80.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%
n=23						

【質問5の主な解答例】

- ・支店の所在地 札幌市、函館市、旭川市
- ・支社の所在地 札幌市、函館市、旭川市
- ・営業所の所在地 札幌市、函館市、千歳市、岩見沢市、小樽市、苫小牧市、北見市、帯広市、釧路市
- ・店舗の所在地 札幌市、函館市、旭川市、帯広市、釧路市、網走市
- ・工場の所在地 千歳市、岩見沢市、苫小牧市、釧路市

質問6 貴社の支店などにおいて、北海道新幹線(新青森駅～新函館北斗駅)の開業に伴う東北新幹線との相互乗り入れ(「はやぶさ」の宇都宮駅停車)によって受けるメリットや期待することはありますか。(複数回答可)

	ビジネス 交流	販路取引 拡大	観光客 誘客	コンベンション 誘致	居住促進	その他
合計	13	4	3	0	0	3
構成比	56.5%	17.4%	13.0%	0.0%	0.0%	13.0%
製造業	4	1	0	0	0	1
構成比	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
建設業	1	0	0	0	0	0
構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
卸売業	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
小売業	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
サービス業	4	2	2	0	0	2
構成比	44.4%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%
その他	4	1	1	0	0	0
構成比	80.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
n=23						

質問7 質問6で選択した各項目について、そのメリット等を具体的にご記入ください。

【主なメリット】

- ・出張が乗換えなしでできるため取引先とのビジネス交流が増える。
- ・日帰りでの商談が可能になり販路取引拡大に繋がる。
- ・人的移動が容易となりマンパワー不足が解消される。
- ・店舗間の情報交流等が活性化する。
- ・時間距離の短縮により相互交流が可能になる。
- ・観光客増加により取引先である飲食店の繁盛が期待できる。
- ・観光面での交流が活性化し有利な展開が期待できる。

質問8 貴社が、北海道新幹線(新青森駅～新函館北斗駅)の開業に伴う東北新幹線との相互乗り入れ(「はやぶさ」の宇都宮駅停車)によって受けるメリットや期待することはありますか。(複数回答可)

	ビジネス 交流	販路取引 拡大	観光客 誘客	コンベンション 誘致	支店等 開設	居住促進	取引先等 誘致	その他
合計	106	56	63	16	6	8	21	20
構成比	49.8%	26.3%	29.6%	7.5%	2.8%	3.8%	9.9%	9.4%
製造業	26	17	9	2	0	0	2	3
構成比	53.1%	34.7%	18.4%	4.1%	0.0%	0.0%	4.1%	6.1%
建設業	9	3	3	2	0	1	2	1
構成比	60.0%	20.0%	20.0%	13.3%	0.0%	6.7%	13.3%	6.7%
卸売業	13	10	8	1	1	2	4	1
構成比	48.1%	37.0%	29.6%	3.7%	3.7%	7.4%	14.8%	3.7%
小売業	9	5	6	1	2	2	3	2
構成比	39.1%	21.7%	26.1%	4.3%	8.7%	8.7%	13.0%	8.7%
サービス業	27	13	23	7	2	0	6	7
構成比	45.0%	21.7%	38.3%	11.7%	3.3%	0.0%	10.0%	11.7%
その他	22	8	14	3	1	3	4	6
構成比	56.4%	20.5%	35.9%	7.7%	2.6%	7.7%	10.3%	15.4%
無回答3件	n=213							

【その他の主な記載内容】

- ・研修旅行先としての選択が可能となる。
- ・北海道からの労働力確保が可能となる。
- ・社員旅行等の福利厚生の実施に繋がる。

質問9 質問8で選択した各項目について、そのメリット等を具体的にご記入ください。

- ・北海道の道南地区の建設業者との人材交流・技術交流が活性化し、季節業務量の変動を調節でき、事業拡大のメリットが生まれる。
- ・北海道の企業が本県に支店や営業所を開設する場合には、従業員の居住や新たな販路拡大の機会が増える。
- ・日帰りのビジネスが可能となる。
- ・取引先への訪問が容易となり販路拡大の機会が増える。
- ・北海道企業との交流が活発化することに期待する。
- ・北海道にある親会社のグループ企業との交流が活発化する。また親会社を通して北海道への販路拡大に期待が持てる。
- ・北海道に本社機能を持つ企業が本県内に生産拠点を持つことで工場新設工事等の受注機会が拡大する。
- ・北海道からの観光客やビジネス客の誘客に大いに役立つ。
- ・観光客の誘客により地域活性化・経済の活性化に繋がる。
- ・青果物の取引先との商談が頻繁に行えるようになる。
- ・ビジネス交流や人的交流が活発化され、首都圏への居住促進も期待でき、県勢の強化に繋がる。

5 各質問項目に基づく意見

質問3 現在、北海道の取引先等と離れていることで不便なことはなんですか。

- ・ 羽田空港までの移動そして飛行機、時間がかかりすぎる。
- ・ 工事現場が離れている事
- ・ 訪問するのに時間がかかる。
- ・ 飛行機を利用するので、空港の利便性から札幌・道央の業者が優先し、道南地区の業者交流が出来ない。空港までの移動時間が大変。
- ・ 羽田、福島へのアクセスの悪さ
- ・ 北海道に行く為に1日～2日かかってしまう。(時間がかかり過ぎる。)
- ・ 荷物の送りに時間がかかる。→運送費が高い。
- ・ 移動時間がかかりすぎる。
- ・ 移動(北海道までの移動、北海道についてからの移動)
- ・ 北海道までの移動時間と費用
- ・ 取引先への商談で月1回出張する。飛行機を利用しているが、空港までの時間がかかる。
- ・ 関連組合へ訪問するのに時間がかかる為、お互いになかなか交流できない。
- ・ 交通の便が悪い。
- ・ 一度、東京に出ないといけないので不便。
- ・ 現在、北海道には原料・包材を購入している業者が数社ありますが、特に不便を感じた事はありません。
- ・ 東京(羽田)に出してから飛行機で北海道に行くので、時間のロスがある。
- ・ 往復に時間がかかる為、まめに訪問できない。
- ・ 飛行機利用の場合、待ち時間等のロスがある。
- ・ 移動が大変。飛行機利用は羽田まで2回乗りかえ、荷物が重いときには苦痛。北斗星を利用すると乗り換えなしだが、13時間(洞爺まで)もかかり不便。北斗星の切符がなかなか手に入らない。
- ・ 情報交換が密にできない。
- ・ 移動時間のロス
- ・ アクセスの不便さ
- ・ 飛行機での訪問となってしまうため、いちいち羽田まで行くのが不便である。
- ・ 羽田まで戻って、飛行機を利用なので、タイムロスがあること。
- ・ 物流コスト
- ・ 北海道の都市間移動の便が悪い。
- ・ 飛行機または船を利用しなければならないこと。
- ・ 荷物の配送日数がとられること。
- ・ 東京羽田へ行かなければならない。

- ・ 羽田までの時間がかかること。
- ・ 商談の費用負担、時間を取られる理由により、良質なサービスを提供できない。
- ・ 羽田までの乗り換え、時間がかかるが、新幹線を利用した場合、函館から札幌まで3時間以上かかるのも、これも又、不便である。
- ・ 時間と経費（運賃、交通費…。）
- ・ 現地確認が、タイミングよく出来ない。（原料産地）
- ・ 「時間距離」の観点から、現状では北海道を弊社の営業エリアとすることは難しいと考えております。
- ・ 札幌市に出張所があるので不便は感じない。
- ・ 移動時間がかかる。
- ・ 物流手段とコスト（仕入先）
- ・ 特にございませぬ。取引先は主に札幌なので、函館～札幌間の移動時間をふまえると、飛行機を選択します。
- ・ 離れていることで、取引先の開拓や、既存取引先とのつながりの維持に苦労する点。
- ・ 羽田からの乗り換えが不便
- ・ 営業機会が少ない。
- ・ 旅費が高いこと。時間がかかること。
- ・ 時間がかかり過ぎる。
- ・ 移動の為のコストと時間（手間）
- ・ 現在は、一度東京に出るか、茨城空港までの時間がかかる。
- ・ 飛行場から取引先までの距離が遠く不便である。
- ・ 羽田・茨城・須賀川空港のどれもアクセスが悪く便数が少ない。
- ・ 時間がかかること
- ・ 札幌に営業所があるが仙台支店の管轄となっている。業務委託を受けている営業所があるが不便はない。営業所・支店・本社間の移動に不便を感じる。

質問7 貴社の支店などにおいて、北海道新幹線（新青森駅～新函館北斗駅）の開業に伴う東北新幹線との相互乗り入れ（「はやぶさ」の宇都宮駅停車）によって受けるメリットや期待することはなんですか。そのメリット等を具体的にご記入ください。

- ・ 移動時間の短縮と確実性。コストダウン効果
- ・ 移動時間が短い。ただし、北海道内の空港の利便性の方がよい場合もあるので函館近辺に限る。
- ・ 来訪者が増加し事業への効果大
- ・ 取引先の来社が増える→取引の増大に期待。出張が乗り換えなしで便利。
- ・ 北海道までは非常に遠いイメージだったが、3時間半であれば大阪より近くなる感じ。

- ・ 出張時間の短縮
- ・ 工場間交流時間短縮
- ・ 日帰りでの商談も可能になることにより、販路取引拡大となる。
- ・ 人的移動により、マンパワー不足の解消
- ・ 店舗間における情報交換等による活性化
- ・ 各種大会の開催へプラスとなる。
- ・ 時間距離が短縮化されることで、相互の交流（ならびに競争）が可能になると思われます。
- ・ 北海道の景気が良くなり商談が増える。
- ・ お互いに交流が深まり、観光客の増大につながる。北東北との連携も期待出来る。
- ・ 函館支店開設の動機の1つとなる。
- ・ 取引先との連絡・交流が密になる。販路取引に於いても大いに期待できる。観光面での交流が盛んになることで互いに有利な展開が期待できる。
- ・ 栃木県のお客様と北海道のお客様とのビジネス交流（ビジネスマッチング＝M&A等）
- ・ 異なるエリアのビジネス文化に触れる機会が多くなること。

質問8 貴社が、北海道新幹線（新青森駅～新函館北斗駅）の開業に伴う東北新幹線との相互乗り入れ（「はやぶさ」の宇都宮駅停車）によって受けるメリットや期待することはなんですか。そのメリット等を具体的にご記入ください。

- ・ 移動時間が短い。ただし、北海道内の空港の利便性の方がよい場合もあるので函館近辺に限る。
- ・ 北海道道南地区の建設業者と人材・技術交流で、夏期及び冬期の季節業務量変動を調整し、相互に事業拡大メリットがある。新幹線が北海道まで延伸することで、現在も停車しない青森・秋田方面行がさらに増便しないか心配。東京行通勤用新幹線の増加も良いが、北に向かっていく時、仙台乗り換えでは今も不便である。北海道延伸の機会に、現在の青森・秋田行新幹線の停車も実現できるよう産業界からも要請して欲しい。こういったアンケートでも、北東北・北海道経済圏という範囲で聞いた方が良いように思う。
- ・ 3時間30分で北海道に行ける為、日帰りのビジネスが出来る。
- ・ 取引先への訪問がしやすくなり、又、販路拡大の機会も増えることを期待。日光などへの観光客が、アクセスが良くなり、増加することが大いに期待でき、メリットは非常に大きいものと思います。
- ・ 取引先の来社が増える→取引の増大に期待。出張が乗り換えなしで便利。
- ・ 北海道企業との交流がより多くなることを期待します。
- ・ 日帰りが可能となる。セールスの件数が増える。

- ・ 乗り継ぎの解消
- ・ 北海道までは非常に遠いイメージだったが、3時間半であれば大阪より近くなる感じ。
- ・ 移動時間の短縮が大きなメリットではないでしょうか。北海道、青森はまだお客様が少ないですが、増えてくれば利用する機会が増えてくると思います。
- ・ 親会社のグループ企業との交流
- ・ 北海道の企業が栃木県に支店や営業所を開設した場合、オフィスビルはともかく、従業員の居住や新たな販路取引拡大の機会が増える。また、観光客の増加に伴うインフラ整備の推進に伴う仕事量の増加が期待できる。
- ・ 栃木県の活性化が、ビジネスチャンスにつながる。
- ・ 親会社を通して、北海道への販路拡大に期待が持てる。
- ・ 取引のある業界の企業は北海道には多くないが、早く結ばれることで新業界への売り込みが現実的に可能性を帯びればよい。
- ・ 北海道に本社機能を持つ企業が県内に生産拠点等を持つことによる、工場新設で工事の受注機会が増加する。
- ・ 学生確保に関連することが考えられる。
- ・ 物産展等の開催等
- ・ 現状は、北海道地区への行き来は全くないが、開業に伴い、市場開拓、取引先拡大等の機会が増えればと期待する。
- ・ 東北、北海道等よりの出張のお客様の増員の見込み期待。
- ・ 航空機利用による東京までの移動時間の短縮等に期待します。
- ・ グループ会社への訪問・交流チャンスが拡大する。社内研修先として、また取引先の視察旅行先として従来敬遠（時間的制約で）していたが、検討候補に充分なりえる。
- ・ 全国大会、研究会への参加が容易になる。メリットは、業務の質の向上を考慮すると高いと考える。
- ・ 今回の新函館北斗駅では、函館から札幌まで時間がかかることより、(1)、(2)の効果は少ないと思います。北海道新幹線が札幌まで伸びれば効果は大きいと思います。
- ・ 同業種間での交流。（施設見学・実習受入など）
- ・ 工場見学等の来場が容易となる。他代理店との情報交換など
- ・ 世界遺産、日光等への観光客への販路拡大
- ・ 毎年、北海道のデパートで催事をやっておりますが、往復に時間がかかるので、宇都宮駅に停車してもらえれば、北海道から旅行や所用で来宇していただいた方に、弊社にもよっていただき、見学やお買物もしていただけるのではと考えております。是非とも宇都宮駅に停車して下さることを切に希望します。

- ・ 宇都宮の良さを知ってもらう機会が増え、各企業が宇都宮へ支社や支店、営業所の出店、拡大を考えるきっかけになれば、当社にとってもビジネスチャンスへつながると考えます。
- ・ 宇都宮市、栃木県の交通が便利になる事になる。人口の増加によって、生協としてのお役立ちの場面が広がっていく事と考えます。
- ・ 情報はもちろん、商流の変化と拡大が期待できると考えます。
- ・ 日帰りで営業活動が出来るのはメリットが大きい。
- ・ 栽培圃場の薬用植物の生育状況を適期に調査できる。北斗星や飛行機の利用では、かなり前から予約しなければならないが、新幹線の利用では、数日前の予約ですむと考えられるので、雨天日をさけた出張ができる。
- ・ 時間の短縮がはかれる為、行く機会が増えると考えます。北海道からの誘客は考えられないと思います。
- ・ 所用時間が、片道5時間から3.5時間になれば、日帰り出張も可能になる。
- ・ 移動時間が軽減できること。従って、これにより取引の機会が増えることも期待できる。
- ・ 観光客、ビジネス客が増えることによる、タクシー利用客の増
- ・ 東北とのビジネス交流が増えるに加え、観光面における集客活動が盛んになる事への期待。
- ・ 青果物の取引先との商談が頻繁に行えるようになるため、交流の密度が向上し、販路拡大に繋がる。
- ・ 工場間交流時間短縮
- ・ 日帰りでの商談も可能になることにより、販路取引拡大となる。
- ・ 栃木県の活性化が、ビジネスチャンスにつながる。
- ・ 北海道からの観光客誘致には大いに役立つと思います。観光県である栃木県には是非停車してほしいです。
- ・ 観光客が増えれば、売上増になる。
- ・ ビジネス交流や人的交流が活発化され、首都圏への居住促進も期待できる為、大きな意味で、県勢の強化につながると考えます。
- ・ 飛行機に比べ、急な葬儀等に参列することが容易になるため、より多くの方が個人との最後のお別れをすることができるようになる。また、社名の知名度が上がることを期待します。
- ・ 東京方面以外の観光のお客様が增加する可能性が高まる為。
- ・ 宿泊、宴会などの利用増。コスト削減できる。商談に行く回数を増やせる。
- ・ 支店間会議の実施が容易になる。
- ・ 店舗間における情報交換等による活性化
- ・ 宇都宮駅への停車本数増になると、乗り換えなしとなる。仙台以北の各都市とのアクセスが良くなると思われるので。
- ・ 各種大会の開催へプラスとなる。

- ・ 現状の顧客への営業頻度が上がる為
- ・ あくまで、函館に支店を開設する場合は、時間的な優位性がある。
- ・ 訪問回数の増加による取引量の拡大。（時間・費用圧縮により）
- ・ 原料産地との交流
- ・ 営業開拓を行うには、人的投入が必要となりますが、時間距離が短縮化されることで、可能になってくると思われます。（弊社の現在の営業エリアは、大阪～仙台であり、これを広げる可能性は出てくると思われます。）
- ・ 地域経済、特に観光と消費関連の活性化
- ・ 年末・年度末、警備員が不足するので、季節的に労働力が確保できれば当社にとってメリットは感じられる。
- ・ 福島原発の問題以降、落ち込んだ県内の観光地に活気が出るよう、期待します。
- ・ 北海道のクライアントとつながる。
- ・ 東北・北海道新幹線が宇都宮駅に停車すると、北海道との行き来が便利になり、経済の活性化につながる。
- ・ 現在、北海道との交通アクセスを考えると、福島空港又は羽田空港を利用して行く他になく、時間的にも多くかかってしまう（費用も）。観光の視点で考えると、北海道～宇都宮・日光等の交通アクセスは格段に良くなり、観光客の来訪が多くなると思う。
- ・ 宇都宮に多くのビジネス、観光を目的とした人々が来訪することによって、ホテル、飲食、お土産品等の関連業種が活性化され、都市開発・整備が進んでいくものと期待しています。
- ・ 観光客の誘客により、お客様が駅ビル（パセオ店）で食事・買物等をして頂ける（売上増）。人の流れが活発化し、地域活性化・経済活性化が図られる。北海道方面のみならず、東京方面も便利になり、人の動きが活発化する。
- ・ 宇都宮駅停車により、餃子に代表される宇都宮市の飲食業の活性化。宇都宮市を起点とした日光をはじめとする県内観光地への誘客による県工業の活性化に期待する。
- ・ 北海道からの宇都宮観光客の増加
- ・ 青森でりんご、ニンニク、セラミド有機肥料など、販路拡大基地青森の会社のコントロールがしやすい。
- ・ 北海道の得意先の獲得、仕入先の拡大。北海道からの観光客増加により、観光地の売上増加等。
- ・ 店舗の品揃えまたは、祭事等により、魅力ある商品をお客様に紹介することができること。
- ・ 北海道との交通アクセスの利便性が向上し、宇都宮を事業展開の拠点として認知する企業が増えれば、弊社の事業運営に良い影響もあると思ひます。

- ・ 北海道よりも北東北(青森、秋田、岩手)への移動に大きなメリットがある。是非宇都宮駅停車が実現できますよう、お願い致します。
- ・ アクセス時間の短縮による観光客の増加。
- ・ 営業エリアの拡大(時間短縮)
- ・ 弊社は、日光宇都宮道路維持管理や日光口パーキングエリアの営業を栃木県道路公社から委託されている。期待度はかなり低いですが、相互乗り入れにより、日光へ訪れる観光客が増えることを望みます。(宇都宮駅でレンタカーを使用)
- ・ ビジネス交流の活発化に伴う新たな取引先の発掘。観光産業への新規顧客誘致。
- ・ 降雪対策技術の高い北海道の建設技術の研鑽が可能となる。
- ・ 時間が短縮されれば交流も多くなり、ビジネスチャンスも生まれ、販路拡大にもつながる。
- ・ 宇都宮餃子を食べようというニーズをメディア等で高めることによって、北海道からの誘客も見込める。
- ・ 宇都宮から直接現地に赴けるのでビジネス時間の短縮ができ、関東・東北と同様のペースで仕事ができるため商圏が広がりビジネスチャンスが増える。
- ・ 北海道から栃木に手軽に来ることが可能になるため観光客が増える可能性あり。または、それに伴い転居も期待できる。弊社は、現在、宮城県に支店及び工場があるため、今後エリア拡大候補地としての可能性が広がる。
- ・ 当社創業の地は、小樽市であり、北海道と宇都宮の移動が身近になる事は、イメージ的に歓迎です。(ビジネスでは直接価値につながりませんが!!)
- ・ お客様向けの撮影ツアーなど企画が広がる。
- ・ ビジネス交流と観光客誘客に依る、経済的効果が見込まれる。
- ・ 観光関連需要の増加による両地域の活性化に繋がる。
- ・ 時間距離が短縮し、人との交流が増えること。
- ・ 宇都宮市は知名度の低い栃木県の県庁所在地として、これからもっとPRすべきで、今回の宇都宮駅への停車は是非実現させたいものです。ビジネスにおいても有利と考えます。ただし停車させるだけでなく更なる工夫も必要だと思えます。駅周辺の開発、交通機関の利便性、「停車してよかった」、「下車してよかった」と思われる都市づくりが急務ではないでしょうか。
- ・ 販売スタッフを紹介する業務に鑑みると、物産展等の企画が増えれば、販売スタッフ紹介の依頼も増すと考えられる。
- ・ 営業所を開設し業績を拡大できる。
- ・ 全然違う地域とのビジネス交流はいろいろな意味で勉強になる。
- ・ 顧客情報の入手及び北海道に拠点を持つ企業への間口が拡大する。

6 調査票

企業名

業種

北海道新幹線（新青森駅～新函館北斗駅）開業に係るアンケート調査（回答用紙）

質問1 北海道新幹線が平成28年3月に開業し、東北新幹線とつながることをご存じですか。（該当する番号を○で囲んでください。）

- (1) 知っている (2) 知らない

質問2 北海道新幹線が開業し、宇都宮駅に「はやぶさ」が停車した場合、宇都宮駅から新函館北斗駅まで3時間30分程度で結ばれます。北海道へビジネスで行く場合新幹線を利用しますか。（該当する番号を○で囲んでください。）

- (1) 新幹線を利用したい (2) 飛行機を利用したい (3) その他 ()

質問3 現在、北海道の取引先等と離れていることで不便なことはありますか。

[]

質問4 貴社は、北海道函館市及びその周辺都市に支店・支社・営業所・店舗・工場などがありますか。（該当する番号を○で囲んでください。）

- (1) ある (2) ない

※ 「ある」と回答した場合は、質問5へ 「ない」と回答した場合は、質問8へ

質問5 それはどのような施設ですか。（該当する番号を○で囲んでください。）また所在地（例、〇〇市）をご記入ください。

- (1) 支店 (所在地)
(2) 支社 (所在地)
(3) 営業所 (所在地)
(4) 店舗 (所在地)
(5) 工場 (所在地)
(6) その他 () (所在地)

質問6 貴社の支店などにおいて、北海道新幹線（新青森駅～新函館北斗駅）の開業に伴う東北新幹線との相互乗り入れ（「はやぶさ」の宇都宮駅停車）によって受けるメリットや期待することはありますか。（該当する番号を○で囲んでください。（複数回答可））

- (1) ビジネス交流 (2) 販路取引拡大 (3) 観光客誘客 (4) コンベンション誘致
(4) 居住促進 (5) その他（ ）

質問7 質問6で選択した各項目について、そのメリット等を具体的にご記入ください。

[]

質問8 貴社が、北海道新幹線（新青森駅～新函館北斗駅）の開業に伴う東北新幹線との相互乗り入れ（「はやぶさ」の宇都宮駅停車）によって受けるメリットや期待することはありますか。（該当する番号を○で囲んでください。（複数回答可））

- (1) ビジネス交流 (2) 販路取引拡大 (3) 観光客誘客 (4) コンベンション誘致
(5) 北海道への支店等開設 (6) 居住促進 (7) 北海道から取引先等の誘致
(8) その他（ ）

質問9 質問8で選択した各項目について、そのメリット等を具体的にご記入ください。

[]

ご協力大変ありがとうございました。